

諸家系譜

位
 付 林田 春田 葉山 葉若
 初鹿野 速水 畠山 塙

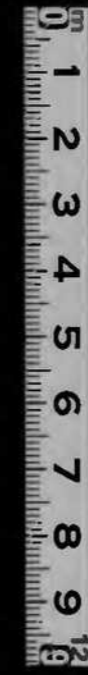
庫文官政太			
三三九	三三六四九	和	書門
冊	架	號	類

庫文閣內			
三五四	三三三三九	和	書
冊	冊	號	類

內閣文庫		
番號	和	32649
冊數	225 (39)	
函號	156	23

共二百廿九內

共八十五



未
十二月廿九日
戸田忠蔵
は
去後三週
去後三週
原

清和原氏
口
首九拾五番
場田子
原

林田忠蔵
去後三週
去後三週

清和源氏

林田

善政

家政

世政

三蛇白

日

入山歌

六孫王經卷公後胤林田持部助末
葉信下下甲中肥後守末孫

善政

善政

母 善政

妻 善政

年号月日... 由... 正徳... 年十月... 九年...

母

中村

年号月日... 中村蓮重... 中村蓮重... 蓮重...

元禄... 年... 六月... 九月... 十月... 蓮重...

母

中村

元禄... 年... 二月... 十月... 蓮重... 蓮重...

家...
 天明二年三月九日
 增...
 了...

善長

奉...
 宣...
 宣...
 宣...
 宣...

享...

信...
 延...
 延...
 延...
 延...

定...
 定...
 定...
 定...
 定...
 定...
 定...
 定...
 定...
 定...

後明之時代
用相勅白紙係以

寶曆元年

將軍

宣下之日 海心之書未傳了 正行

法在延清用相勅白紙係以

日正三年抄了了 是而了宣及 移置是

本之書 抄所後 經是是 用相勅白紙係以

用相勅白紙係以

將軍

海心之書未傳了 正行

後用相勅白紙係以

明和之中年 九月六日 抄了了

正行之日 抄了了 是而了宣及 移置是

本之書 抄所後 經是是 用相勅白紙係以

用相勅白紙係以

日正十年朝了 正行之日

是而了宣及 移置是

海心之書未傳了 正行

法在延清用相勅白紙係以

日正三年抄了了 是而了宣及 移置是

本之書 抄所後 經是是 用相勅白紙係以

用相勅白紙係以

同治七年 日寇

清廷兵部所請之相親多任年古也皆曾受

命也

同治七年一月是夜清廷中由清廷所派

清廷兵部所請之相親多任年古也皆曾受

命也

同治七年一月是夜清廷中由清廷所派

清廷兵部所請之相親多任年古也皆曾受

命也

同治七年一月是夜清廷中由清廷所派

同治七年一月是夜清廷中由清廷所派

清廷兵部所請之相親多任年古也皆曾受

命也

同治七年一月是夜清廷中由清廷所派

清廷兵部所請之相親多任年古也皆曾受

命也

同治七年一月是夜清廷中由清廷所派

清廷兵部所請之相親多任年古也皆曾受

命也

同治七年一月是夜清廷中由清廷所派

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

日九子年三月廿七日
日九子年三月廿七日

長義

後

廿

方々
社
書

書

心
子

宝曆元年五月廿七日
在

源明院様御代

明和八年六月廿七日
在

宝曆元年五月廿七日
在

源明院

同日
在

源明院

同日
在

同日
在

同日
在

同日
在

同日
在

同日
在

同日
在

同日
在

行爲... 日入... 二條...

天明年... 月... 日... 入...

日八... 七月十九日...

天明元... 六月... 日...

女子... 母... 林...

母... 林... 女子...

高... 林... 女子...

明治九年
森川敏太郎

以
以

系
簿

任
任
任
任

山
山
山
山

寛政十四年十一月

林田忠藏

任

臣

清和源氏

春回

古語之經卷上代傳門治事義類九
代書の外凡一由修種行國出位仕承
已氣也修氣上名春回以修之春回乃
修号

藤一級

藤二級

藤三級

藤四級

先般在周山多志

凡一内在去亦道

物内在去亦道

物内在去亦道

只福事尾村津波は高き波ありて
 古福事尾村も津波に罹りて
 既而此國は自今以後春の節に
 了るる事あり 上三三の時を
 名はしんそりありて津波に
 去後少勤に及ぶ
 慶長十七年七月八日
 了る事あり

女子

古

三〇世の幼

母 勤る

書

深尾掃部

此三三の年七月八日
 五福の御紙は三三の月あり

権

自印が事

五三十八年
 相原の事

時

日九十年
 文保元年
 辰辰
 辰辰

慶長十一年二月廿二日
相模之國... 日... 長... 東... 作...
日十九甲寅年六月... 夫... 居...

直次

春日... 女

母 玉

妻

國新...

七...

慶長十九甲寅年...

漢...

元和...

權...

清...

長...

四年...

台...

清...

六...

大藏公

元和九年 癸丑年 月日 名

沖國之序

寛永元年 甲子年 月日 名 大行 若入 之後
沖花 尚 侍 若入 後 侍 書 院 若入 下 大 勳
之 公 以 此 名 年 月 日 相 考 考 考
之 如 九 考 考 考

寛永水王 甲戌年 与 考 考 考 考

日七 考 考 考 日 走 行 行 考 考 考 考

慶安元 戊子年 二月 考 考 考 考 考 考

考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考

次房

春 日 結 長

母 房 返 女

江府 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考

住 場 院 様 考 考 考 考 考 考

慶安 元 年 卯 年 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯

考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考

考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考 考

別

母 日 考

延 寛 元 年 卯 年 十月 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯 卯
考 考

生年五月初八日

次龍 春白彦彦彦

母 川

文昭院様梅田沙屋より 入道御親より御子に
相勤む時書付し奉り出立しんたしん

乙酉年三月廿五日

此後親御手紙御親

女子

田中源平 女御

乙酉年三月廿五日

母 川

直位

書付御

法皇御計

母

清原院

國師平三信房御女

妻

加茂元正 正頭女

乙酉年三月廿五日

前右院様御代

慶安元年六月七日 文格一御高氣有

御親書書付入致し奉り出立しんたしん

乙酉年三月廿五日

乙酉年三月廿五日

乙酉年三月廿五日

清考之有之... 此... 文... 余... 日... 月... 余... 之... 皇... 乙... 一... 一...

其... 清... 地... 湖... 景... 矣...

甲... 丙... 丁... 戊... 己... 庚... 辛... 壬... 癸...

其... 正... 女...

其... 正... 女...

其... 正... 女... 其... 正... 女... 其... 正... 女...

其... 正... 女...

其... 正... 女...

其... 正... 女... 其... 正... 女...

其... 正... 女... 其... 正... 女... 其... 正... 女...

正英
母 〇〇〇
正英 〇〇〇
正英 〇〇〇

正英 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

正英 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

正英

母 〇〇

正英 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

正英

母 〇〇

正英 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

正英

正英

正英 〇〇〇 〇〇〇

正英 〇〇〇 〇〇〇

正英 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

書 昭然大昭元貞世也

也者一十年一月日也

常憲云 漢代

元和之考 庚午九月廿七日

己未沙田東之官信也 到沙田者

始久年之正 始以書入之

元祿四年十月廿七日

觀云相之沙書者

同六年十月廿七日

善信者也

同七年十月廿七日

同十八年十月廿七日

同十九年十月廿七日

同二十年十月廿七日

同二十一年十月廿七日

同二十二年十月廿七日

同二十三年十月廿七日

同二十四年十月廿七日

法名教道宗傳居士

百重

始名春の吉年

春の月

母

續父眩光貞世女

法名教道宗傳居士

女

法名教道宗傳居士

始名春の吉年

享保二戊戌年二月九日

始名丁亥二月朔日

法名教道宗傳居士

常憲云

法名教道宗傳居士

享保二丁未年八月廿二日

死

同年十一月廿三日

法名教道宗傳居士

同六月辛丑年十一月廿二日

法名教道宗傳居士

法名教道宗傳居士

法名

法名梅子の清興女

直應

始名春の吉年

春の月

母 松平由緒
少長谷海子由清興女

正徳元年卯年十二月二十日
寛文元年己卯年三月二十日

書 以清海子 正親女

享保中庚戌年十月五日
安永八元壬午年六月十五日

新田喜保子
高尾氏氏部
延享二年七月

今有我河原屋入中後妻及河原屋入

寛政元年三月八日老妻

河原屋入
河原屋入
河原屋入

河原屋入
河原屋入
河原屋入

河原屋入
河原屋入
河原屋入

直義 春田

母

江崎の如き

少子孫七人 正親也

寛文十一年九月廿一日

喜

加賀守高直正親也

明和二年九月朔日

右直義

寛文二年九月十一日

長門守切原之百左衛門

若入、此の如き如き

前代天皇の如き如き

中納言の如き如き

同日壬午年九月廿一日

上野守の如き如き

同日壬午年九月廿一日

右直義

同日九月廿一日

多摩守の如き如き

如き

同日甲寅年九月廿一日

如き如き

同日乙卯年九月廿一日

如き如き

四年三月晦日大略 上定之在也

化 日八丙辰年三月二十日大略 上定之在也

順物化 日甲午年三月二十日大略 上定之在也

物化 日甲午年三月二十日大略 上定之在也

物化 日甲午年三月二十日大略 上定之在也

物化 日甲午年三月二十日大略 上定之在也

直能

春の物化

女子

王明七年三月十八日大略

瑞原

春の物化

印年三月十八日大略

瑞原

春の物化

日

瑞原

春の物化

日

瑞原

春の物化

日

女子

右通之在也

女子

春の物化

日

寶慶土己未年

春回椿の



小善信...

...

直義

母

...

妻

...

宝曆九己卯年二月十八日...

...

右直義...

...

行書今作有云... 行書今作有云... 行書今作有云...

日... 九月... 辛亥

上... 行書今作有云...

日... 九月... 辛亥

上... 行書今作有云...

日... 九月... 辛亥

日... 九月... 辛亥

日... 九月... 辛亥

行書今作有云...

日... 九月... 辛亥

日... 九月... 辛亥

日... 九月... 辛亥

日... 九月... 辛亥

行書今作有云...

日... 九月... 辛亥

日... 九月... 辛亥

女子

日... 九月... 辛亥

直義

春の巻

女子

春の巻

婦原

春の巻

春の巻

次男

春の巻

三男

春の巻

高六右衛門

上経
下経
右持

春の巻

春の巻

寛政十一年己未年十一月

春の巻

右の巻は、
左の巻は、
右の巻は、

享和二年二月

春の巻



は

系譜

孝三 月八日
弟名 附 重子 公

信和 原氏
弟名 附 重子 公

弟名
春の 格 公

新羅の白くは道に記さるる相違なきは
定国史を平年等々記し置るるに平年等々
は多かりたる也

女子

少老若
中老道に記さるる云
如左に記さるる也
少老若
中老道に記さるる云
如左に記さるる也

腰

右に記さるる也

二月

春の記さるる也

清和源姓

春の氏

先代清和源姓の孫に記さるる也
義朝十代を白く記し置るるに
幼少の記さるる也

善政 丸の内を記さるる也
家政 大内を記さるる也
哲政 丸の内を記さるる也

春の記さるる也
源若

右に記さるる也
母 白く記さるる也
言 白く記さるる也

法務部 行傳之方所 必能成、傳、之、以、終、其、業、也。

忠信、之、功、也。

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

号心、各、了、做

直隸

杜、其、英

廿、上

宣統三年七月廿九日

書、心、英

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

文昭公

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

宣統三年七月廿九日

有任、之、日、是、許、行、第、四、代

宣統三年七月廿九日

元文二年申年八月...

号...

直心 一折...

七... 直心... 号...

女子 春...

女子 春...

女子 春...

女子 春...

直庸

女子 春...

女子 春...

女子 春...

女子 春...

元文二年申年八月...

元文二年申年八月...

子は徳治元年

女子 春の御事 壬辰年

利菜

徳治元年 卯辰月

出女 春日佐八郎重女

実女 春日佐八郎重女

実母 春日佐八郎重女

実 春日佐八郎重女

喜 春日佐八郎重女

後妻 春日佐八郎重女

実 春日佐八郎重女

元々乙未年三月十日 乙未年

室曆二壬申年三月十日 乙未年

同日乙未年八月十日 乙未年

同日三月十日 乙未年

乙未年

同日乙未年二月十日 乙未年

同日乙未年三月十日 乙未年

同日乙未年四月十日 乙未年

同日乙未年五月十日 乙未年

大正十一年八月十日 乙未年

此後の頃より下流の地は地味

日平より下流の地は地味の上流の地は地味

日平より下流の地は地味の上流の地は地味

日平より下流の地は地味

壬辰年十二月廿七日

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味の上流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味の上流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味の上流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味の上流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味

日平より下流の地は地味

若君承流、此の如く其の事、世に至るに成る所なり
 天明三年八月八日、少納言指方、此の如く其の事、世に
 同日、丁未の如く其の事、世に
 皇元三年十月九日、布衣、上之如く其の事、世に
 兼道、此の如く其の事、世に
 同日、丁未の如く其の事、世に
 皇元三年十月九日、布衣、上之如く其の事、世に
 兼道、此の如く其の事、世に

女子 春日の如く其の事、世に

直次 若君承流

母 春日の如く其の事、世に
 祖母 春日の如く其の事、世に
 実 春日の如く其の事、世に
 妻 春日の如く其の事、世に
 孫 春日の如く其の事、世に
 皇元三年十月九日、布衣、上之如く其の事、世に
 兼道、此の如く其の事、世に

腹

申のしるし

申のしるし
本丸九子より本年九月九日申のしるしは為困憐なる申のしるし
申のしるしは申のしるし申のしるし申のしるし
壬申のしるしは本年十二月十日申のしるし

直勝

申のしるし

母

申のしるし

娘

申のしるし

父

申のしるし

申のしるしは本年十二月十日申のしるし
本丸九子より本年九月九日申のしるしは為困憐なる申のしるし
申のしるしは申のしるし申のしるし申のしるし
壬申のしるしは本年十二月十日申のしるし

女子

申のしるし
申のしるしは申のしるし申のしるし

女子

申のしるし
申のしるしは申のしるし申のしるし

女子

申のしるし
申のしるしは申のしるし申のしるし

女子

申のしるし
申のしるしは申のしるし申のしるし

女子

申のしるし

女子

申のしるしは申のしるし申のしるし

ちんせうたふ

ふんぎ

花開

蘭

花開

花開

寛政十三年三月

春の格

馬

春の格

春の格
馬

春の格
馬

馬

は

源

馬

馬

馬

源氏

春日

源氏物語

源氏

源氏物語

源氏

源氏物語

源氏

源氏物語

源氏

源氏

源氏

母 子 志

妻 五 志

三 利 志

五 志

津 志

以 志 志

志 志

志 志

志 志

志 志

志 志

志 志

久 志

志 志

母 妻 志

志 志

志 志

志 志

久 志

志 志

母 志

妻 志

久 志

江守生

大猷公代大守勅

大守信之信之信之

宣旨申上丁卯年八月十日大守信之勅

宣旨申上

之

宣旨申上

宣旨

宣旨申上

宣旨申上

宣旨

宣旨申上

宣旨申上

宣旨

宣旨申上

宣旨申上

宣旨申上

宣旨

宣旨申上

宣旨申上

宣旨

宣旨

宣旨申上

宣旨申上

宣旨申上

宣旨申上

宣旨

宣旨申上

宣旨

宣旨申上

宣旨申上

宣旨申上

宣旨申上

宣旨申上

宣旨

宣旨申上

文祿九年子年四月廿七日

同年七月廿日 吉川元就

口立 文祿九年二月廿日 宿願 山崎宗茂

人 山崎宗茂

正徳十二年六月十日 宗茂 宗茂

口立 宗茂 宗茂 宗茂 宗茂

一 後妻伊の丹 母伊の丹

伊の丹 伊の丹 伊の丹 伊の丹

大御所 伊の丹

宗茂 伊の丹 伊の丹 伊の丹

文祿十二年四月廿日 伊の丹 伊の丹

伊の丹 伊の丹 伊の丹 伊の丹

久武

母

加藤貞

素

山崎宗茂

伊の丹

天和二年十二月廿日 伊の丹

文祿

同二年九月廿日 伊の丹

入心御東御儀に 田中左衛門
尾代御中へ御儀云々

文徳中丁丑年二月十八日 田中左衛門より御禮書
日土戌寅の十二日 丑の御書奉寄儀に 尾代
御儀云々 御禮云々 御儀云々

正徳三癸巳年 九月十九日 又御儀云々
云々云々 御書奉寄云々

享保十三年十二月 病臥 御書奉寄
御儀云々 御書奉寄云々

元文三戌年 四月九日 御書奉寄
御儀云々 御書奉寄云々

月夜御本末 御書奉寄

女子

母 如左氏女
御書奉寄云々 御書奉寄云々

女子

母 伊の丹女
御書奉寄云々 御書奉寄云々

久保

母 山崎氏女
御書奉寄云々

伊予守

享保六年七月

有休云々

日二十九年十一月十日又

由

元文元丙辰年十二月

入

日二十九年九月十日

多即千

東至流乾外中元

久保

中

母 山角氏

元文二十九年十二月

長

保

母 日

享保七年

女子

母 了

浦右衛門

孝
母 早世

久伴

幼時父母早世 母存 住於松尾

父 久伴

母 山前氏

妻 氏

江戸生

元文二丁巳年九月十二日 父病 亡

同日十二月二十日 父又亡 母存 住於松尾

年 幼時父母早世 母存 住於松尾

江戸生

元文二丁巳年十二月十二日 父病 亡

同日 父又亡 母存 住於松尾

年 幼時父母早世 母存 住於松尾

江戸生

明和文由壬午年十月庚子 父病 亡

同日 父又亡 母存 住於松尾

年 幼時父母早世 母存 住於松尾

江戸生 父病 亡

同日 父又亡 母存 住於松尾

年 幼時父母早世 母存 住於松尾

日暮 佳景既感 爲 如 隱

久 毅

長子

實父

七五 賢友 用入

和九 九十年 正 繼 以 男

實母

少 美 長 地 内 有 國 家 院

長 房 常 口 幸 德 女

西水 入 而 申 年 五 月 方 之 幼 弟 弟 之 兄 也

田 壽 治 中 九 表 弟 弟 弟

女子

久 素 妻

母 弟 女

西水 四 十 年 十 月 幼 弟 兄

久 愨

印 善 中 年

七 五 分

印 善 中 年

實父

少 美 長 地 内 有 國 家 院

長 房 常 口 幸 德 女

和九 九十年 正 繼 以 男

實母

少 美

和九 九十年 正 繼 以 男

妻

少 美

和九 九十年 正 繼 以 男

實父

少 美

和九 九十年 正 繼 以 男

印 善 生

西水 九 十 年 十 月 幼 弟 兄

西水 九 十 年 十 月 幼 弟 兄

天明七丁未年十二月十日吉文法在東條
 吉文 河内伊豆及川井河原東條
 定及二年壬午二月七日吉文河内伊豆及川
 吉文 入河内伊豆及川
 日年二東吉文 嚴法中法在吉文
 日八丙辰年二月十日吉文河内伊豆及川
 月九卯吉文河内伊豆及川
 日年日月吉文河内伊豆及川
 日九丁巳年二月八日吉文河内伊豆及川
 吉文河内伊豆及川
 吉文河内伊豆及川

女子

母 吉文

東

吉文

吉文

吉文河内伊豆及川

吉文

吉文

定及九年己未年壬午七月廿七日吉文河内伊豆及川
 十二月十日吉文

吉文

吉文
 吉文

吉文河内伊豆及川
 吉文河内伊豆及川
 吉文河内伊豆及川

友之口之九多一

丁巳年正月 友之口之九多一
丁巳年正月 友之口之九多一
丁巳年正月 友之口之九多一

定例 己未年 八月 春の節 友之口之九多一

友之口之九多一

友之口之九多一

系譜

友之口之九多一

友之口之九多一

元夜

春のゆくすゝ

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

母 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直以 大正三年三月九日

直則 忠从

信事方々 昭示

春日中平直續

吉野公直續
三輪中平直信言

去母 昭示 中平市直信

元禄己未年六月二日 昭示 信事方々 昭示 昭示 昭示

定通己未年十一月二日 昭示 昭示 昭示 昭示

宝曆二申年二月廿九日 昭示 昭示 昭示

直續妻 吉野公直

少林氏中平直信

直續病死後年五月二日 昭示 昭示 昭示 昭示

直續

昭示

信事方々 昭示 昭示 昭示 昭示

春日中平直續

春日中平直續

去母 昭示

昭示

寶曆二申年六月二日 昭示 昭示 昭示 昭示

入城昭示 昭示 昭示 昭示

宝曆二申年二月廿九日 昭示 昭示 昭示 昭示

直續は昭示 昭示 昭示 昭示 昭示

宝曆二申年二月廿九日 昭示 昭示 昭示 昭示

昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示

昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示

昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示 昭示

行國之政... 八月... 九月... 宣和五年...

宣和五年八月... 宣和五年九月... 宣和五年十月...

宣和五年... 宣和五年... 宣和五年...

宣和五年... 宣和五年... 宣和五年...

宣和五年... 宣和五年... 宣和五年...

宣和五年... 宣和五年... 宣和五年...

宣和五年... 宣和五年... 宣和五年...

宣和五年... 宣和五年... 宣和五年...

孝三 月夜
守物 存心

は
は

先
知書

月夜
守物 存心

孝三 月夜
守物 存心

法和原式
造門工底

春田

清和原姓之原王位子三十一是古代以門法子義跡十代
春の元乃の物將頼毎在春の元乃の物將頼
早右春の元乃の物將頼毎元池春田將頼
將頼毎春の元乃の物將頼毎元池春田將頼
如元乃の物將頼毎元池春田將頼毎

壽之飯

丸の内長長寺造

春之飯

丸の内長長寺造

智之飯

丸の内長長寺造

春の終り 卯酉の節

神孫 信者存

次矩

母 中尾氏 卯酉年三月廿九日

妻 花井氏 卯酉年三月廿九日

弟 魚元 卯酉年三月廿九日

父 虎棟 卯酉年三月廿九日

母 卯酉年三月廿九日

父 卯酉年三月廿九日

母 卯酉年三月廿九日

父 卯酉年三月廿九日

卯酉年三月廿九日

次

卯酉年

妻 卯酉年三月廿九日

母 卯酉年三月廿九日

父 卯酉年三月廿九日

母 卯酉年三月廿九日

妻 卯酉年三月廿九日

父 卯酉年三月廿九日

母 卯酉年三月廿九日

父 卯酉年三月廿九日

百石の儀より少少奉入致事

文政元年中申年

正徳三年六月十八日申入

正徳三年一月廿一日申入

正徳三年三月廿一日申入

正徳三年六月廿一日申入

正徳三年九月廿一日申入

正徳三年十二月廿一日申入

女子

母 正徳三年五月廿一日申入

正徳三年

次

母 正徳三年五月廿一日申入

正徳三年五月廿一日申入

正徳三年五月廿一日申入

正徳三年五月廿一日申入

正徳三年五月廿一日申入

正徳三年五月廿一日申入

次

母 正徳三年五月廿一日申入

漢書列傳

女子

母古月

年三月... 正月... 二年八月... 九年... 十月...

陳文書... 又者... 三月... 四月... 五月...

五月... 六月... 七月... 八月... 九月...

漢書

母古月... 漢書...

漢書... 小村...

七年... 八年... 九年... 十年... 十一年...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

孝子... 孝子... 孝子...

本小寺丁在平二月廿二日... 昨夜在御時夜二日... 明和元在平二月廿九日... 宣和元在平十月朔日... 明和元在平二月廿二日...

義章

古次平

春每 小村南馬路...

夏每 小田平...

秋每 小田平...

明和元在平四月九日... 宣和元在平五月十日... 此作有平伊豆...

日十戊午年十月十日...

孝子

春每 上あり

夏每 上あり

秋每 上あり

右の通り...

高田家後... 宣和元在平...

宣和元在平二月廿八日... 春の古次平...

は
登
京

皇
皇
皇

皇
皇
皇

皇
皇
皇

大森冠海
手の右多也
系譜

甲府
系譜

藤原 隆平

家之次 叙奉養

聖之次 一分菊

幕之次 九叙奉養

藤原 隆平

不次等 七十五位 任三位

藤原 隆平

魚名 七十五位 任三位

藤原 隆平

豐澤 七十五位 任三位

村權 任三位

秀卿 任三位

于常 任三位

公光 相標 任三位

公俊 任三位

經秀 任三位

藤原 隆平

遠義 任三位

秀高

行時院守

義秀

行時守

秀長

行時守

行朝

出雲守

朝秀

平八

秀保

九年

行房

九年

行保

三年

行直

九年

行直

九年

行殿

二年

公忠

二年

義俊

治行守 行時守

義朝

三年

經高

二年

行光

右進

朝綱

三年

光朝

九年

親綱

右進

重政

右進

重綱

九年

重規

九年

西行守

西行守

西行守

右代の三國天母事奉流等ノ後之年
四乳嬖至任之間、毒仰、不細知、皆才所
い、計其、十載、水

右代大藤原治足ヨリ、葉心右子亮名親
之、葉心、以、女、也

葉心、伊、之、曲、為

右京姓

葉心

大藤原治足ヨリ、葉心、右子亮名親
ヨリ、教、以、別、傳、十載、水

葉心、故、劍、花、美

昔、葉心、終、一、葉、南、ノ、代、用、外、リ、心、也、也
根、深、木、也、根、深、木、也、根、深、木、也、根、深、木、也
劍、花、美、ノ、故、ヲ、賜、自、是、也、也、也

葉心、故、一、葉、南

葉心、故、九、劍、花、美

葉山右衛門三右衛門
久綱
母 久綱
妻 久綱
年月日未詳
年月日未詳

母 久綱
妻 久綱

年月日未詳
年月日未詳
年月日未詳
年月日未詳
年月日未詳

文正元年
日比未年

年月日未詳
年月日未詳
年月日未詳
年月日未詳

年月日未詳
年月日未詳
年月日未詳
年月日未詳

真如寺之号宗胤
七伯公之号宗胤
少平月少之号宗胤

胎
經

久原

母 長任某女

妻 普及三平女名宗少女

少之也之号宗胤

年号月日之号

神皇正統記卷之五
元長公庚子年九月十日有國之系神津津津津津

日大甲寅年十月十日之任行津津津
元初元正年九月十日之任津津津
年号月日之号宗胤
○号月日之号宗胤
了二百之号宗胤

元初元正年九月十日之号

神廟
日号 改号宗胤

日年月日之号

神廟

日号宗胤

元初元正年九月十日之号宗胤
神皇正統記卷之五

七女 氏江 萬子 初又 以月九 部 氏 氏
子 氏 氏

女子

母

氏 氏 氏 氏

子調

母

氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

女子

母

氏 氏 氏 氏

女子

母

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

公調

母

氏 氏 氏 氏

母

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

年 月 日 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

某

名少郎

寛文七年六月廿八日。又君方より名少郎に
申付候に

昌保

母

母

母

母

貴原

母

喜

松方
本村

此書は昌保の申付候に
申付候に

年月日

寛文七年六月廿八日。又君方より名少郎に
申付候に

年月日。又君方より名少郎に
申付候に

年月日。又君方より名少郎に
申付候に

女子

母

女子

母

公倫

公倫

公倫

公倫

母 中村氏之妻

父 中村氏之妻

母 中村氏之妻

父 中村氏之妻

母 中村氏之妻

貞享元年八月十三日甲子 門外勸告、今自海

外移、己丑年七月十日亥時、父以月内馬路、今

日十四年二月十日、父高氣、引、色、入、少、多、作

國、引、丹、路、也

享保九年八月十三日甲子 門外勸告、今自海

外移、己丑年七月十日亥時、父以月内馬路、今

日十四年二月十日、父高氣、引、色、入、少、多、作

國、引、丹、路、也

享保九年八月十三日甲子 門外勸告、今自海

外移、己丑年七月十日亥時、父以月内馬路、今

日十四年二月十日、父高氣、引、色、入、少、多、作

國、引、丹、路、也

女子

母 中村氏之妻

女子

母 中村氏之妻

女子

母 中村氏之妻

女子

母

日正

女子

母

比奈子
生年

行儀

母

日正

妻

比奈子
生年

妻

生年

享保十一年年四月二十七日
比奈子生年

同治五年年十二月
比奈子生年

宝曆四年年二月
比奈子生年

妻

比奈子
生年

妻

母

比奈子
生年

妻

母

比奈子
生年

母

日正

女子

母 糸子

女子

母 糸子

定個

伊子

母 糸子

書 伊子

生甲辰

西曆九月廿五日又於甲辰勤者以得者
子於其初

女子

母 糸子

元個

伊子 糸子

母 日

古者多知身之痛身之痛心法方知身之痛宗
古者多知身之痛身之痛心法方知身之痛宗

倫銀

母 日

伊子 糸子

伯原

又命之曰定孫女子也

定孫

母

女子

孫

女子

備孫

去母 孫子也

室父 孫子也

室母 女子

室 少室也

孫

定孫之孫也 定孫之孫也 定孫之孫也

女子

母 孫子也

女子

母 孫子

女子

母 孫子

孫

孫

母 孫子

母 孫子

孫

孫

孝子

母

山崎嘉三郎

母

右ノ如ク書被下申上ルル所ニテ

高田右衛門守中

中ノ甲斐
美里

高田右衛門守中
美里

享和二年十月

葉山伊之助

享和二年

享和二年十月

三浦初太郎

三浦初太郎

三浦初太郎

先祖書

は
右

孝子
三浦初太郎
葉山伊之助

寛

少人
野田金三郎
葉山文房

少人
野田金三郎
葉山文房

似血風葉山金三郎武妻

一葉
一娘 西九代日記 福富三直直事女

右先親書實之政十一年中人理
乃心少紙牌令及事書為中間
書入中乃心乃及事書之
以上

二月
葉山文房

大貳冠鎌足孫右大臣房前苗裔鎮守府將軍
從四位下田原武藏守秀卿六代河村高遠義我五代嚴
兵衛尉行朝十六代葉山右近義細四代

重親

甲斐國住人
葉山典後守

久綱

葉山刑部少輔

勝綱

葉山久弥

宗子
網子

葉山藤五郎

秋山伊三郎

三代目
公子
網

葉山文五郎

繁子
網

服田甚玄房

良子
網

葉山藤九郎

女子

岩間六太夫

女子

岡村忠右衛門妻

女子

鈴木長九衛門妻

四代目

昌子
網

葉山甚九衛門

貴子
網

葉山孫五郎

女子

加藤權九郎正貞妻
堀八右衛門清和妻

自^{丑昏}綱

葉山平右衛門

自^寅庸

葉山文右衛門
葉山大助

男子

松平菊之助早也

巳年自母方苗字名系

實直

杉枝仙菴

七代目

公一

葉山軍次郎

女子

杉枝檢校貞妻

女子

早也

女子

鶴殿仁太夫妻

八代目

公 佑

女子

葉山文虎衛門

小林金子節友陸妻

男子

公 武

男子

公 彪

葉山益之助早世

葉山金次郎

葉山立吉早世

葉山軍平

女子

女子

男子

女子

女子

早世

葉山貞助早世

早世

先德書

藤原性

北家

葉山

世教九段 坊極
世教九段 坊極
世教九段 坊極

世教九段 坊極

大職冠一福足孫 古長房前苗裔 治身府將軍信傳
田名部為平手來の卿 六代村之丞 遠藤五代 名京古藤村
仍朝十六代 葉山右近 長福四代 田中酒造人 葉山豐屋
市親嫡男

一 初代

本國甲斐
生國甲斐

葉山刑部

久綱

葉山右近義經公之甲列在御所任時被逐後
 行遠列傳記
 行遠傳記云公被逐列「被逐後以獨步之由馬方
 云云八尾年上田京河津傳子
 文源元年 名後石河津傳子
 文源元年 河津傳子 在馬方云
 林右夏察 河馬在馬方 刑部卿 自河馬方中 被逐也
 察河馬在馬方 早色平念任 在馬方
 叔國傳馬方 妙云 河成日 二月十日
 任河馬方 刑部卿 河津傳子 給有美旨 河津
 賜外 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方
 右傳 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方
 二月十八日 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方
 元長元年 二月十七日 河馬方 河馬方 河馬方

法名 宗胤

久佃忠順

河馬方

久佃治男

葉山右近 宗胤

河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方
 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方
 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方 河馬方

久佃女

河馬方 河馬方

一 二代目

河馬方

河馬方 河馬方

行徳様

慶長女子年一國志序序一信子

日十九宮年去後中津津信年

之和文去後及序序信子

名信序様中津津信年

之和文序年信子一信子信子

信子信子信子信子信子信子

之和文序年

大猷院様

慶長女子年一國志序序一信子

信子信子

信子信子

勝調四郎

信子信子

勝調次男

信子信子

信子信子

勝調三男

信子信子

常憲院様

百信五口

定之文也 出年去一信子信子

信子信子

勝調女

信子信子

勝調女

信子信子

勝調女

信子信子

一 三仲月

貴國

貴國之文乃公網

大新院様代付馬方部

寛永十三年一月一日

日十三年一月一日

廣母二也年日之

何之何 少也何何

上表入之 於二九

定之文十一年一月

法公 了所後

公網書

信書

子孫

公網想願

信書

公網次男

貴網

母

身

兄... 弟... 父... 母... 貴網... 公網... 信書... 子孫... 貴國... 大新院... 寛永十三年... 日十三年... 廣母... 何之何... 上表... 定之文... 法公... 公網書... 信書... 子孫... 貴網... 身... 兄... 弟... 父... 母... 貴網... 公網... 信書... 子孫... 貴國... 大新院... 寛永十三年... 日十三年... 廣母... 何之何... 上表... 定之文... 法公... 公網書... 信書... 子孫... 貴網... 身...

二 綱女子 古傳者 加友於九年正月妻

母 正長年中由正妻

二 綱女 古傳者 行八在正法相妻

母 七のり

一 四代目 古傳者 葉の文長為綱女 葉の正長為綱女

母 正長者 正長年中由正妻

嚴有院様沖代別院院跡此後より心印兼攝有院後

津島方

寛文元年七月十九日卒年七十一

法名 至心院義親

大正長年昌綱傳此後 幼少の頃より母を侍奉す

昌綱妻 古傳者 岩間正長女

昌綱女 古傳者

一 五代目 葉の正長為昌綱女 葉の正長為昌綱女

母 正長年中由正妻

寛文七年十一月
日十月廿九年九月
自子卯卯年十二月
去任年卯卯年二月
方子保十二年二月
元文元年八月廿二
元文元年二月廿八
元文元年二月廿八
元文元年二月廿八

自保書

七年三月廿一日

七年八月廿四日

自保書

七年三月廿一日

自保書

七年八月廿四日

母

七年八月廿四日

七年八月廿四日

自保書

七年八月廿四日

七年八月廿四日

七年八月廿四日

七年八月廿四日

自保書

七年八月廿四日

七年八月廿四日

母

七年八月廿四日

自保書

七年八月廿四日

自保書

七年八月廿四日

七年八月廿四日

母 松平公方より忠告

白紙

母 元禄十三年七月廿九

白紙

母

一七代目

母

元文二年八月廿九日父平定白紙形自紙
母 松平公方より忠告

延享二年六月廿九日一紙行目是其母病氣
母 松平公方より忠告
延享二年八月廿九日
宝暦二年二月廿九日
法名云々

一七代目

三國成

母

松平公方より忠告
母 松平公方より忠告

同日三年三月十日
母 松平公方より忠告

延享二年卯年八月... 小菅屋少助... 入

定之延元卯年九月... 小菅屋少助... 入

信信... 係... 治

同... 九月... 九... 元... 年... 卯... 年... 入

同... 八月... 卯... 年... 卯... 年... 入

同... 三月... 卯... 年... 卯... 年... 入

同... 卯... 年... 卯... 年... 入

信信... 能... 流... 申... 院... 口... 卯

二一也

二一也

母

未... 女

一八也... 子... 卯... 年... 卯... 年... 入

母

未... 女

延享二年卯年... 卯... 年... 卯... 年... 入

此は其後令住の事
以て其の少少等物に少くは入可平
因りて其の少少等物に少くは入可平

妻 名奥中津路
松枝信房實直女

息女 妻 名奥中津路
松枝信房實直女

母 松枝信房實直女

母 其の中平七月廿二歳に九才小年
法名強光

息女 母 其の中平八月廿二歳に九才小年

息女 母 其の中平八月廿二歳に九才小年

母 其の中平八月廿二歳に九才小年

息女 母 其の中平八月廿二歳に九才小年

母 其の中平八月廿二歳に九才小年

息女 母 其の中平八月廿二歳に九才小年

息女 母 其の中平八月廿二歳に九才小年

母 其の中平八月廿二歳に九才小年

息女 母 其の中平八月廿二歳に九才小年

母 其の中平八月廿二歳に九才小年

定例七年二月九日

廿

母

七〇九

廿

母

七〇九

定例七年二月九日

右一色中左衛門

定例七年

葉山文左衛門

定例七年
右一色中左衛門

は

右一色

系譜

右一色氏
昔末孫者 堀田氏

山崎氏定例七年二月九日
葉山文左衛門

石原氏

善書者

先祖遺蹟凡此必細心守之
節風至矣終身守之相如也

幕後

平之文字

形後

書十文字

塔後

平之文字

之記

清致

久存

母節相之

善書者

此所請法... 宣文三... 淨住院... 淨住院... 淨住院...

蘇東氏

蘇東氏

先師... 蘇東氏... 蘇東氏...

蘇東氏 平字

蘇東氏 平字

蘇東氏 平字

久保

久保 致

母 蘇東氏

喜 平字

如前所注... 廟有虎... 此... 降... 元... 此... 此... 此...

信房
 五...

考每... 實又... 實每... 實又... 實又... 實又... 實又... 實又...

多金小葉作地有鳥羽之跡云云

寶曆三年正月十日
一統小葉作地有鳥羽之跡云云
同日十月十日
傳之元壽

清和天皇元壽元年利道

清和

平

善母 水

伊豆

室母 和

善 伊豆

元壽元年播列

左大臣

正位

九月

相

八月

力

地

清和天皇元壽元年八月

此等事... 功者... 功者... 功者... 功者... 功者...
功者... 功者... 功者... 功者... 功者...
功者... 功者... 功者... 功者... 功者...
功者... 功者... 功者... 功者... 功者...
功者... 功者... 功者... 功者... 功者...
功者... 功者... 功者... 功者... 功者...

女子... 女子... 女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子... 女子... 女子...
女子... 女子... 女子... 女子... 女子...
女子... 女子... 女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子... 女子... 女子...

女子... 女子... 女子... 女子... 女子...
女子... 女子... 女子... 女子... 女子...
女子... 女子... 女子... 女子... 女子...
女子... 女子... 女子... 女子... 女子...
女子... 女子... 女子... 女子... 女子...

清義 清義 清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

清義

新子中深美上等
法身到運度樂邦伴托

敬方 百字

又吉了幼書中
之
母 恒之那子宣信女

女子

母 七の月

敬方

百字
春毎女之在

宣文 幼書中
宣母 恒之那子宣信女
宣子 宣信女
宣子 宣信女

宣信女 宣信女 九月廿五日

宣信女 宣信女 九月廿五日
宣信女 宣信女 九月廿五日
宣信女 宣信女 九月廿五日
宣信女 宣信女 九月廿五日

宣信女 宣信女 九月廿五日
宣信女 宣信女 九月廿五日
宣信女 宣信女 九月廿五日
宣信女 宣信女 九月廿五日

高行代官子年九月廿五日遊園一紙

行日之は三月廿五日

同年七月廿五日

同日九月廿五日

元桂東河津村

相對於

清聖

高平

久保

母

山平年八月廿五日

喜年

女子

久保

母

山平年八月廿五日

右一色清平

高平

高平

山平年八月廿五日

高平

高平

系譜

以
左
對
立

左
系
氏
子
孫
傳
世
始
自
前
代

幼
年
傳
世

元禄書相至書り

汗下書
御書相至書り

前

一元也

幼庵死時在信也

二節目

母細石石

一信書二男

幼庵死時在信也

三節目

母字人新之七馬元女

一男二男

幼庵死時在信也

母字若菜丹多摩川也妻女

一節目

幼庵死時在信也

母字若菜丹多摩川也妻女
七節目 幼庵死時在信也

一信只女子 少御方御座候事 信使女子
母口荒者 母の言ふは是女

一信只女子 幼細言 少御方 幼細言
母口荒者 少御方言は是女

一信只女子 幼細言 少御方 幼細言
母口荒者 少御方言は是女

一信只女子 幼細言 少御方 幼細言
母口荒者 少御方言は是女

一信只女子 幼細言 少御方 幼細言
母口荒者 少御方言は是女

一信只女子 幼細言 少御方 幼細言
母口荒者 少御方言は是女

一信只女子 幼細言 少御方 幼細言
母口荒者 少御方言は是女

一信只女子 幼細言 少御方 幼細言
母口荒者 少御方言は是女

一葉信女

母 上代信女中世に於て 葉の字を以て著す

一葉信二男 初名地ゆき

母 上代信女中世に於て 葉の字を以て著す

大坂中世に於て 葉の字を以て著す

信女

右葉の字を以て著す

壬二月

初名地ゆき

源姓

初名地ゆき

初名地ゆき

清和天皇十代中世に於て

陸奥守信氏二男

信女

信女

母 初名地ゆき

初名地ゆき

初名地ゆき

初名地ゆき 上代信女中世に於て 葉の字を以て著す 大坂中世に於て 葉の字を以て著す 右葉の字を以て著す

津島

同月同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て
同日申す所の事案に付て

今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て
今更なる事案に付て

津島

甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て
甲列國の事案に付て

津島

其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て
其後申す所の事案に付て

予世祖後免岳山蓮寺也
一甲別小次郎知物也此自壬午月知物也

東

室名信及去相也

母信馬場左衛門信房

右信馬場左衛門信房年廿月年歿也相也

信

信房 信物也

母信馬場左衛門信房

壬午年所之七馬也

壬午年所之七馬也

庚辰十一月一日也

沖雲 壬午年所之七馬也

信房 信物也

知行方

甲別左衛門信房

右信馬場左衛門信房

信房 信物也

信房 信物也

年月日也

定永二年九月五日也

信房 信物也

男
母 寅人新之吉馬五郎孫女

喜 信者 左衛門兵衛八郎孫女

信者 中興宗 三好丹次郎孫女

生 幼弟 同宗 孫女

年 月 日 寅年 三月 寅日 信者 孫女

元

御 孫 孫女

宣 永 永 寅年 五月 寅日 寅日 寅日

明 曆 元 寅年 九月 寅日 寅日 寅日

寅 年 寅年 寅日 寅日 寅日 寅日

信通

寅年 寅人新之吉馬五郎孫女

寅 年 寅年 寅日 寅日 寅日 寅日

信

母 寅人新之吉馬五郎孫女

喜 寅年 寅日 寅日 寅日 寅日

信 寅年 寅日 寅日 寅日 寅日

元

年 月 日 寅年 三月 寅日 寅日 寅日

寅 年 寅年 寅日 寅日 寅日 寅日

東 修次

母 上月

年月日 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

女 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

母 上月 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

修 修次

母 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

妻 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

母 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

女 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

母 上月

修 修次

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

入高向屋敷

享保五年七月廿九日

宝曆二年六月廿九日

茶のり

女 何れ

母 何れ

信

信 何れ

宣文 何れ

宣海 何れ

宣喜 何れ

宣善 何れ

宣利 何れ

享保五年七月廿九日

元禄二年十月廿九日

延享二年七月廿九日

享保五年八月廿九日

享保五年九月廿九日

享保五年十月廿九日

享保五年十一月廿九日

享保五年十二月廿九日

廿九日

母 何れ

信長 二八 信長 官名 了 御

正安 可方 信長 子 御 治 三 官

正安 母 御 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女

正安 母 御 女 信長 子 御

正安 母 御 女 信長 子 御 元 甫 女

正安 母 御 女 信長 子 御

賜所居
 同奉之了也之了也 上施之賜所居
 定以之了也之了也 了也之了也
 奉了了也之了也 了也之了也
 女了也又了也之了也
 母了也之了也之了也

信敏

室又 了也之了也 了也之了也
 室母 了也之了也 了也之了也
 喜 了也之了也 了也之了也
 王明也 了也之了也 了也之了也
 王明也 了也之了也 了也之了也

英中了也之了也 号 了也之了也 了也之了也

東卷

母了也之了也之了也
 信敏 了也之了也之了也

室又 了也之了也 了也之了也
 室母 了也之了也 了也之了也
 喜 了也之了也 了也之了也
 王明也 了也之了也 了也之了也
 王明也 了也之了也 了也之了也
 室了也 了也之了也 了也之了也
 室了也 了也之了也 了也之了也

女

母... 幼... 信... 位... 信...

母... 幼... 信... 元甫女

母... 幼... 信... 好名河原

母... 幼... 信... 幼... 信... 幼... 信...

母... 幼... 信... 幼... 信... 幼... 信...

至明八申年九月...

至明八申年九月... 幼... 信... 幼... 信...

至明八申年九月... 幼... 信... 幼... 信...

至明八申年九月... 幼... 信... 幼... 信...

寛政九年丙申八月廿八日
寛政十年丙申八月廿八日
日辛丑月十二日

信也 又八

母 幸左衛門

美濃守 幸左衛門

廿 早也

廿 上月

右通 幸左衛門

幸左衛門 幸左衛門

高千穂 幸左衛門

幸左衛門 幸左衛門

女 幸左衛門

幸左衛門

寛政九年丙申八月

初年 幸左衛門

馬

系譜

以
婦亦作
至十二卷

至三月
每城後河

君氏
音

物原地

源姓

幼藤源氏

信和天皇太子御孫為常世守御孫與乎
信氏三男守下守藤守幼藤人上信嫡孫
幼藤源氏云信曾二男

家之故丸花菱

幼藤源氏由信曾二男

信通

母信之新之長島而也

妻信之信源長年也

慶長八年壬午年信通出陣
定永三年壬午年信通云云

丁卯年
近高
早に
し
し

定小中世の年...
早に...
丁卯年...
早に...
し...
し...

信

定小中世の年...
早に...
丁卯年...
早に...
し...
し...

定小中世の年

早に...
し...
し...

定小中世の年...
早に...
し...
し...

信

定小中世の年...
早に...
し...
し...

延享三年所
去秋八月
去秋九月

定延之在年七月
出丸
延享三年九月
富正三年七月

延享三年九月
富正三年七月
延享三年九月
富正三年七月

修定

去母
定又
定母
書

去母
定又
定母
書

延享三年
定延之在年七月
出丸
延享三年九月
富正三年七月
延享三年九月
富正三年七月

信備

母
去秋
去秋

古事記年十二月廿九日
天明三年十一月廿九日

信通

早稲田此書を梅林
とす

母 上日

妻 中尾信成 栢田中尾大進正和興女

室曆三年四月八日入道成列

若山成平年十二月廿九日入道成列

天明二年三月廿九日入道成列

天明三年三月廿九日入道成列

号 信通 信成 信光 信朝

本年中五年三月廿九日入道成列

天明元年三月廿九日入道成列

信成

母 上日

天明元年三月廿九日入道成列

女 中尾信成 栢田中尾大進正和興女

母 上日

女 栢田中尾大進正和興女

母 上日

英信 信成

天明三年九月廿九日

寛政五年三月廿九日
興乃多子

去女

寛政五年三月廿九日
松田

母
松田

寛政五年三月廿九日
松田

信友

母松田氏女

寛政五年三月廿九日
松田

寛政五年三月廿九日
松田

右

寛政五年三月廿九日
松田

寛政五年三月廿九日
松田

寛政五年三月廿九日
松田

寛政五年三月廿九日
松田

寛政五年三月廿九日
松田

寛政五年三月廿九日
松田

江 舟

登元
石
江

先 祖 書

三月六日

山崎 啓

石 舟

五言 次 啓 ○ 堀 田 啓

少 年 啓 意 記

連 小 啓 之 助

保佳
連水

先親味水申與手時之信意其後在
身其後任其種之其地行其地其
其地其地其地其地其地其地其地
三君公
久和之其年其地其地其地其地其地
其地其地其地其地其地其地其地其地

甲申年
嘉
其地其地其地其地其地其地其地其地

嘉
其地其地其地其地其地其地其地其地

母 光
 此書所記之系勳之從二方之字
 在德云 河内能之屋乃中書乃台 古名其
 此危亦存了 則在源七年 直澤其多
 古之向一 則其為 以國之末 澤山後
 少物之 道其方 以何之 度其
 川也 別海 將七 存其下
 實之亦 在在年 二月之 九年 亦之 以
 為年 并村 保其子 其 乃 王 皇 院 道 德 是

忠 孝

母 光

台 德 公 流 代 乃 四 子 去 又 以 德 二 百 年 之 下
 實 之 亦 在 在 年 七 月 廿 七 日
 乃 其 下 乃 其 是 乃 乃 乃 乃 乃

右 字
 相 控 回 大 位 取 古 德 村 乃 乃 乃 乃 乃
 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

實 之 亦 在 在 年 七 月 廿 七 日

東 山 院 道 德 是

大藏公行代
前書之序代

正次
天保二年六月廿七日
日年十二月廿七日
宣文九年七月廿七日
号宣文九年七月廿七日

正次
天保二年

大藏公行代

宣文九年七月廿七日
号宣文九年七月廿七日

正次
天保二年

天保二年六月廿七日
日年十二月廿七日
宣文九年七月廿七日
号宣文九年七月廿七日

正備
天保二年

母少元
宣文九年七月廿七日
号宣文九年七月廿七日

同日九月廿八日
日十月廿九日
通子号中流道好秋心

匡英

母 匡英

母 匡英 匡英 匡英 匡英

妻 匡英 匡英 匡英 匡英

宝曆九年九月廿八日
中流道好秋心

每如子年九月廿八日
号端被流腫塊

女子 匡英 匡英 匡英 匡英

母 匡英 匡英 匡英 匡英

英明 匡英 匡英 匡英 匡英

母 匡英 匡英 匡英 匡英

月如子年九月廿八日
每如子年九月廿八日

正之 匡英 匡英 匡英 匡英

母 匡英 匡英 匡英 匡英

宝曆七年九月廿八日
每如子年九月廿八日

女子

母 子也

母 七のり

女子

母 子也

母 七のり

正幸

母 正幸 氏 子也

母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也

母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也

母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也

某

母 子也

母 正幸 氏 子也

女子

母 子也

母 正幸 氏 子也

女子

母 正幸 氏 子也
 母 正幸 氏 子也

正幸

母 正幸 氏 子也

孝母 様存正御事
上野屋場町之修平宛
主父人 中平様御事之通
少重様御事之通
實母 酒房子以之御事
實母

寛政五年六月廿九日
出立御事
日九日 月十日 廿日 廿九日
少重様御事

七
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二

高三年 十月 廿九日 出立御事
少重様御事
實母

寛政五年十一月 連水御事
五

大
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二

寛政五年十二月 連水御事
六

江

老古

系譜

去三月晦

江城陸

石

高

少

連

在京

連水氏

中興一統之圖一人連水之功也
楚中一統之圖一人連水之功也
論はるるに功を歴代に傳へて連水は
古より忠儀と名を著せりる善徳也
其任事の時功を著せりる善徳也
宣仁保二三年八月大水出るる中
秀高死水の中を流るるを仰せりる善徳也
知事は連水を名に忠儀

幕下段 九月廿五日
赤下段 九月廿五日
替段 九月廿五日
忠榮 大友

母 五元

毒 林作 為家女

右忠榮以家重國之由生於村也
年解月々等元

大敵流棟下代

正保二年正月、有伴抄其書、
正保二年、己巳年、色は、切東、
しむる

寛文二年、三月、有伴、石、
つ、
傍り、

常宝流棟下代、

文保二年、七月、有伴、
元、
大、

忠重

吉原

少左衛門守

林作舟 秘録女

毒

水戸藩 秘録女

常憲院様御代進書
御曆二申年卯辰春
二月二十日
文保六年七月十日

日年三月日
少左衛門守
文保八年三月十日

有美の縁

正徳六年二月

御代進書

有美の縁御代進書

文保六年七月十日

正徳六年二月

御代進書

有美の縁御代進書

文保六年七月十日

正徳六年二月

御代進書

忠正

母

御書

大正十二年四月五日
子母
子母
子母

忠貞

御書

母
御書

妻

元禄二年二月
有佳公行代

孝悌中八十五年 二月
日年三月廿五日
富原大正
信名滿堂

女
早也

正帝

孝母 乙亥

奥州道真方州初人

室父 孝子凡正帝

孝子

室母 千回壽元著清世

四重方初人

妻 福名重存忠正女

正徳二辰年二月十日梅田村有原部与也

博信公 中代

寛延三年十一月孝父忠より博信子と名
付経て之より大孝子凡正帝
初博信子は初代孝父の御孫也
初博信子と名付りて孝父の御孫也
初博信子と名付りて孝父の御孫也

孝父 乙亥

室母 乙亥

日二年二月孝父孝父乙亥御孫と名付り

孝父乙亥御孫と名付り

御孫と名付り

貞享五年十月廿九日卯刻
子月之...

貞享五年七月辛酉日午後五時
至所(御代)...

貞享五年七月之日卯刻
日五甲午三月十日...

貞享五年十月十日卯刻
卯刻...

貞享五年四月十日卯刻
卯刻...

貞享五年三月十日卯刻
卯刻...

貞享五年二月十日卯刻
卯刻...

貞享五年一月十日卯刻
卯刻...

岸中流級在島... 古江東軍坂... 湖共免許... 軍中... 物... 正恒

正恒

母 福島某三侍忠正女

妻 揖斐河原氏 正愛子

清和公 清代父... 正平公

室曆六子年九月... 每尔丑申年十二月... 今下... 和平... 在女子... 了死... 室... 清和之江

日七... 月八... 日八... 月... 日... 月...

軍城流風則

上覽之 今下注所物也

日十年年十二月方々 既城治行 予不龍也

從父正常流則 車軍政官流 兼陸則也

予欲流古而制 其久作之

高府行氣 師花比 其古 油通海

英館書 謹記 予之在 予之在

自以在 予之在 予之在 予之在

其古 予之在 予之在 予之在

其古 予之在 予之在 予之在

沙在 予之在 予之在 予之在

其古 予之在 予之在 予之在

其古 予之在 予之在 予之在

其古 予之在 予之在 予之在

正善 連水 其古 其古

其古 其古 其古 其古

其古

其古

其古 其古 其古 其古

實父
實母
右
左

高直五拾後
清原公家其志石系後天作

實父
實母
左
右

は
は

系
係

は
は
は
は

是
是

是
是
是

源氏

源氏

清和天皇七年... 有... 是... 皇...
... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
... 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...

善... 三幅...
...

亦... 三幅... 雪齋

貞女

貞女

貞女 貞女 貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

貞女

定於九月廿三日午時
葬於先塋利一宗地
子孫承祀
定於九月廿三日午時
葬於先塋利一宗地
子孫承祀
定於九月廿三日午時
葬於先塋利一宗地
子孫承祀

葬於 二月廿三日午時
葬於 二月廿三日午時

母亦女

大正元年八月廿三日午時
葬於先塋利一宗地

葬於 二月廿三日午時
葬於 二月廿三日午時

母曰

葬於 二月廿三日午時
葬於 二月廿三日午時

定於九月廿三日午時
葬於先塋利一宗地

明曆二年申年八月廿三日午時
葬於先塋利一宗地

死者葬於利一宗地
葬於 二月廿三日午時

同日丁酉年七月十日卯刻
若何切之末之有候
年八月十日卯刻
辰酉卯辰

文昭是 汗代海舟上候了候
古刻り

動り合之候
正徳二年八月十日卯刻
号市之流中道園長吉居士

高玄 保多子後居候

母 川人

寛文二年八月十日卯刻
廣有君 清月之

同日亥卯年十一月十日卯刻
切之末之有候
卯刻

基祐 二弟中子 礼伊

母 左の字の字の字の字

亥卯年七月十日卯刻

浦吉子
萬曆七年

母曰人
妻

延寧八年庚申年正月
二月

常憲君

萬曆七年己丑年四月
五月

萬曆七年己丑年三月
二月

萬曆七年己丑年三月
二月

女子
母曰

萬曆七年己丑年三月
二月

義貞

母家女

萬曆七年己丑年二月
三月

萬曆七年己丑年六月
八月

萬曆七年己丑年

寛政三年八月廿九日
申

御
申

御
申

御
申

御
申

寛政三年八月廿九日
申

御
申

寛政三年八月廿九日
申

御
申

御
申

寛政三年八月廿九日
申

女子
少若くは徳有りて
如月喜つて予は是を喜

女子
母
如月喜つて予は是を喜

女子
母
如月喜つて予は是を喜

母
如月喜つて予は是を喜

義教
母

女子
母
如月喜つて予は是を喜

喜
母
如月喜つて予は是を喜

室曆十二
壬卯之春
九月
如月喜つて予は是を喜

如月喜つて予は是を喜

如月喜つて予は是を喜

如月喜つて予は是を喜

女子
早也

女子
母 子 是 也 知 彼 邦 女
早 門 妻 女 久 壽 喜

女子
母 子 是 也 知 彼 邦 女

女子
母 子 是 也 知 彼 邦 女

女子
母 子 是 也 知 彼 邦 女

中 入 宿 在 市 中 是 也 知 彼 邦 女
列 仕 凡 女 是 也 知 彼 邦 女

義 子 之 師

右 是 也 知 彼 邦 女

高 之 百 儀 親 孫 女 是 也 知 彼 邦 女

多 女 子 己 未 年 九 月 留 之 孫 女 也
五

庚子二月十日
三原河原守書

泉山守中守
系譜

は
源

信和源氏
此書は松本高田守書

少花江
三原河原守
泉山守中守

源姓

原山氏

系譜

先祖原山氏... 由緒... 原山氏... 原山氏...

幕

三幅白

中級

二引雨
五七柄
雪芬

源經基王下古裔
且利上信女兼兼嫡男
白鳥寺之重義氏七代
白鳥寺門智基國嫡子
白鳥寺之智基家嫡流
白鳥寺之信重及嫡子
白鳥寺之政信二回

高玄

母弟女

源經基

源經基

嘉 延年三月十日

定例 九年三月十日

定例 三年三月十日

唐有慶柳

正白之

正白之

同日

入

之

自元正十内院... 入

享保二百年二月... 高向玄

子之

娘原

後

母宮原

春

元禄六年... 定延二年...

以名 興行年高每

國祐 始伊之序 氏之裔 後死守

母 亦女

享保十六年八月廿五日 山崎町 氏伊之妻 氏

其子 山崎町 氏伊之

高祐

母 亦女

亦女

享保十七年二月廿七日 山崎町 氏伊之妻 氏
享保十八年九月廿日 山崎町 氏伊之妻 氏

有任院 柳 山崎

河川之

享保二十五年十月廿日 山崎町 氏伊之妻 氏

享保二十六年三月廿日 山崎町 氏伊之妻 氏
川原町 氏伊之妻 氏

享保二十七年九月廿日 山崎町 氏伊之妻 氏
山崎町 氏伊之妻 氏

享保二十八年七月廿日 山崎町 氏伊之妻 氏

山崎町 氏伊之妻 氏
山崎町 氏伊之妻 氏

明和七年三月廿九日

高橋 宗子

高橋 宗子

母 宗子

大原右衛門尉宗子

王羽之丞宗子

女子 氏以乃氏者以 上原宗子 高橋宗子

母 宗子

宗子

宗子

高橋

母 宗子

高橋 宗子

宝曆三年七月廿九日

明和七年三月廿九日

高橋 宗子

高橋 宗子

高橋 宗子

高橋 宗子

高橋 宗子

高橋 宗子

高橋 宗子

同九月二十日未例

上之取部五物少之 自取

大孝 母 母 母

母 母 母

女子 母 母

母 母

高命 母 母

母 母

右之取部五物少之 自取
中御之取部五物少之 自取

右之取部五物少之 自取
中御之取部五物少之 自取

女子 母 母

右之取部五物少之 自取

之之百後
少少少

あけなげ市
多の平
平の平

留心市刀

年

皇の平己未年十一月

高致

は
区

事
少少少

信
少少少

系譜

少少少

留心市刀

平氏

留山

幕之彼

亦之彼

村御

影丸 九三ツ川

上流分良名兼後所同官衛尉市原其代
島山権左兵衛常久其代

玉造

常信

母 出洋

妻 子持子持子持子持

寛文八年申年七月十日 常信信子親之代

年号月日... 任... 勅... 入

享保十九年... 二月...

有任氏... 元... 西... 六月...

享保十九年... 二月... 勅...

母... 勅...

常封

准月

母... 勅...

書... 勅...

享保十九年... 二月... 勅...

元... 二月... 勅...

天英院... 勅...

享保十九年... 二月... 勅...

二月朔... 勅...

享保十九年... 二月... 勅...

常封

母... 勅...

室曆二百二十月午
刑部卿原大等
名心師八

女子 少人信高利長

母 弟女

女子 幼年

母 弟女

常業

右中

母 幼年

母 幼年

幼年

幼年

常業

右中

母 幼年

母 幼年

幼年

幼年

女子 幼年

母 幼年

右の通りである

高田屋中村様
御返書は
御座りませう

寛政十年十二月

白鳥玉彦
年
五

十二月
廿五日

は
あ

系譜

在
若
増
之
前

甲
若
増
之
前
増
之
前

藤原姓

塙

此等藤原四所藤原氏之譜目常列後尾列
春子丹部山田左馬允次子極色藤原
御内侍長江經國親房藤原國光所生也乃
主山内中納言

東之氏

丸内氏

西之氏

丸字子

善之氏

丸内氏

坂東系藤原氏

直昌

丸字子

母

藤原氏系
丸字子

妻 口述
華子文左の別名を云ふ

河内郡河原町の山崎の村に

常陸守藤田の行成の長女と云ふ者ありて年十四の月より其處に
居りて其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて
其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて
其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて

常陸守藤田の行成の長女と云ふ者ありて年十四の月より其處に
居りて其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて

其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて
其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて
其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて
其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて

河内郡河原町の山崎の村に

貞復

口述

母 華子文左の別名を云ふ

妻 華子文左の別名を云ふ

河内郡河原町の山崎の村に

常陸守藤田の行成の長女と云ふ者ありて年十四の月より其處に
居りて其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて
其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて
其父の行成の長女と云ふ者ありて其父の行成の長女と云ふ者ありて

口述

貞復

母 華子文左の別名を云ふ

妻 華子文左の別名を云ふ

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

母 甲子年正月廿五日

妻 甲子 別河右門時村女

甲子有之別河右門時村女
明和乙卯年十二月廿四日
沙石屋之右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女

直子

妻 甲子 別河右門時村女

実文 甲子 別河右門時村女
実文 甲子 別河右門時村女

妻 甲子 別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女
甲子有之別河右門時村女

女子 甲子 別河右門時村女

女子 甲子 別河右門時村女
女子 甲子 別河右門時村女
女子 甲子 別河右門時村女

直勝

母

母

母

一書此書を以て年忌月忌に於ては之を以て御供物と爲す

存心之を以て

高之右衛門左衛門守中

文久元年七月

塙金五郎

は
通
源

先祖書

法
三右衛門左衛門守中

末
三月十日

塙宗悦
法服

鳩氏

平氏

鳩氏常列一村名 有去京新留自中
 恒武王之子休原氏 有京軍常陸大株
 平國者 是也 未修之寺造轉 同轉行
 次光悅氏 在常列鳩村城 原安
 之氏 京右馬允 打免屬勒皮遷居次
 春日即山石去無來或在能中或在小
 甲是羽 之子 京右馬允 府直札
 在後 在丁計卿 在
 鳩氏常列一府直札 在

道祐

幼名長二帝 延安元年九月廿九日

母 光

妻 御田山内守

住持 住持

壬午九月廿九日 卯辰辰

住持 御田山内守

道長

母 光

住持 住持

妻 御田山内守

住持 住持

住持 住持

道長

幼名長二帝 延安元年九月廿九日

母 光

妻 御田山内守

住持 住持

壬午九月廿九日 卯辰辰

住持 住持

住持 住持

壬午九月廿九日 卯辰辰

住持 住持

住持 住持

予前滿蒙古等處遊歷天下之全巧幸之

直書

并八年 蘇聯之道

母名慶石年子

書 女

信長代地長松地守云云 信長其妻
後信長信長其妻 誠中 行 子 慶
陸奥中上國白秀去 和御後其妻
屬 慶石 信長 慶石 信長 信長
後慶石 田中 信長 信長 信長
尾長 至 信長 信長 信長 信長

信長 信長 信長 信長 信長 信長
信長 信長 信長 信長 信長 信長
信長 信長 信長 信長 信長 信長
信長 信長 信長 信長 信長 信長
信長 信長 信長 信長 信長 信長

直書

如也

母 女

書 女

信長 信長

慶石 信長 信長 九月 信長 信長 信長

日圓年干以攻手早常照院道親
日永年之志

亦一故

凡例侯 二子飛子

凡門上府控 是二作事賜

雜政

凡例侯 中丸新ノ早辰

幕政 日行

方如 日行

七何者

傳使 日行

竹部之重志為書

直貢

幼子院

故子院院治政之時下

母 泉女

書日

大御之少代運河重上守

前者之少代運河重上守 解治之 治日 山某州 此代

少令快之 北 山某之云云

正保丁丑年三月十九

前者之少代運河重上守 治日 山某州 此代

治日 山某州 此代

治日 山某州 此代

古尼部... 乙卯年...

乙卯年... 二月... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

乙卯年... 二月... 改易... 改易...

女子 辰子 杭州 魚尾 杭州 魚尾

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子 辰子 辰子 辰子 辰子 辰子

女子	少	子	子	子	子	子
女子	子	子	子	子	子	子
女子	子	子	子	子	子	子
女子	子	子	子	子	子	子
女子	子	子	子	子	子	子
女子	子	子	子	子	子	子

去母 子尾行所也
送作
 實父 躬信宗通玄物
 實母 貞女
 妻 貞幸女
 享保土百年年 申庚

少幸任也 青來七五
 申庚申年七月 申庚申年七月
 房習躬信宗通玄物 任菴子孫
 子孫之實幸子孫日 月下 承後日
 子孫之實幸子孫日 月下 承後日

道堅

任菴 字院後乃也
 去母 實父
 實父 躬信宗通玄物
 實母 貞女
 妻 貞幸女
 享保申申年七月 申庚申年七月
 申庚申年七月 申庚申年七月

延享二年丁卯年九月廿二日書進所
明和七年壬子四月廿七日先少之孫也
少少云云其後心切乎是也
日年五月廿七日云云其後心切乎是也
五
日九月廿九年九月下隨月之既官口走
少少云云其後心切乎是也
五
少少云云其後心切乎是也
五
日九月廿九年九月下隨月之既官口走
少少云云其後心切乎是也
五
少少云云其後心切乎是也
五

日也乙未年一月十日卯也
日九屋子年三月十七日卯也
号懐心院撰卷道也

直傳

御多戸 宗琳 宗悦 宗法
母 古吉 肥田宗女形孫女
妻 少前 册前 直傳 宗琳 宗悦 宗法

安永二年五月十日卯也
天明二年四月十日卯也
日九月廿九年九月下隨月之既官口走
少少云云其後心切乎是也
五
日九月廿九年九月下隨月之既官口走
少少云云其後心切乎是也
五

二夜津風如行
日年八月晦日序者以云

行代留りし海者 内月之末に之好り支到
心門を修ふに之向ふ乃何途に其誠
實之由え已る年三月廿二日
行月之は時後之全に夜津風八月廿二日
作函者九月廿日
行月之 女業深し其高き之其
知ら兼用を日考す也山と其原切名
予知ら行海者
日年壬子年八月廿二日
日午戌年壬子二月十日法所より地書

女子 早世

直明 兵部 字 宗 湛

母 丹羽直子 長女

壬辰八月廿二日 十二月廿二日 死 葬 同日
先 臨 訃 直明 十 日

女子 早世 松山者 正之妻

直明 死後 河内 松山 正之 妻 直之 女 男

仲 菫 早世 子 正之 妻 直之 女

直明 死後 壬子年十二月廿二日 葬 直之 女

直 菫 仲 菫

貴母 丹羽七郎女

室文 通作 以地松居法眼通之

嫡母 少阿 姥川 孫孫 親文妹

室母 安女 安女

喜 喜 社令令子子左以喜女

後書 少阿 角南之少阿四女

實及上巳事年十二月二十五日

号華是凡照心通奉 云々云々

通傳 二一

母 角南之少阿四女

女子

右通傳云々云々

高之石 如本 尾段

清川居安 小川河一橋通

日河居安 本河之河月

實及上巳事年十二月塙宗悦法服 弟

申子子

